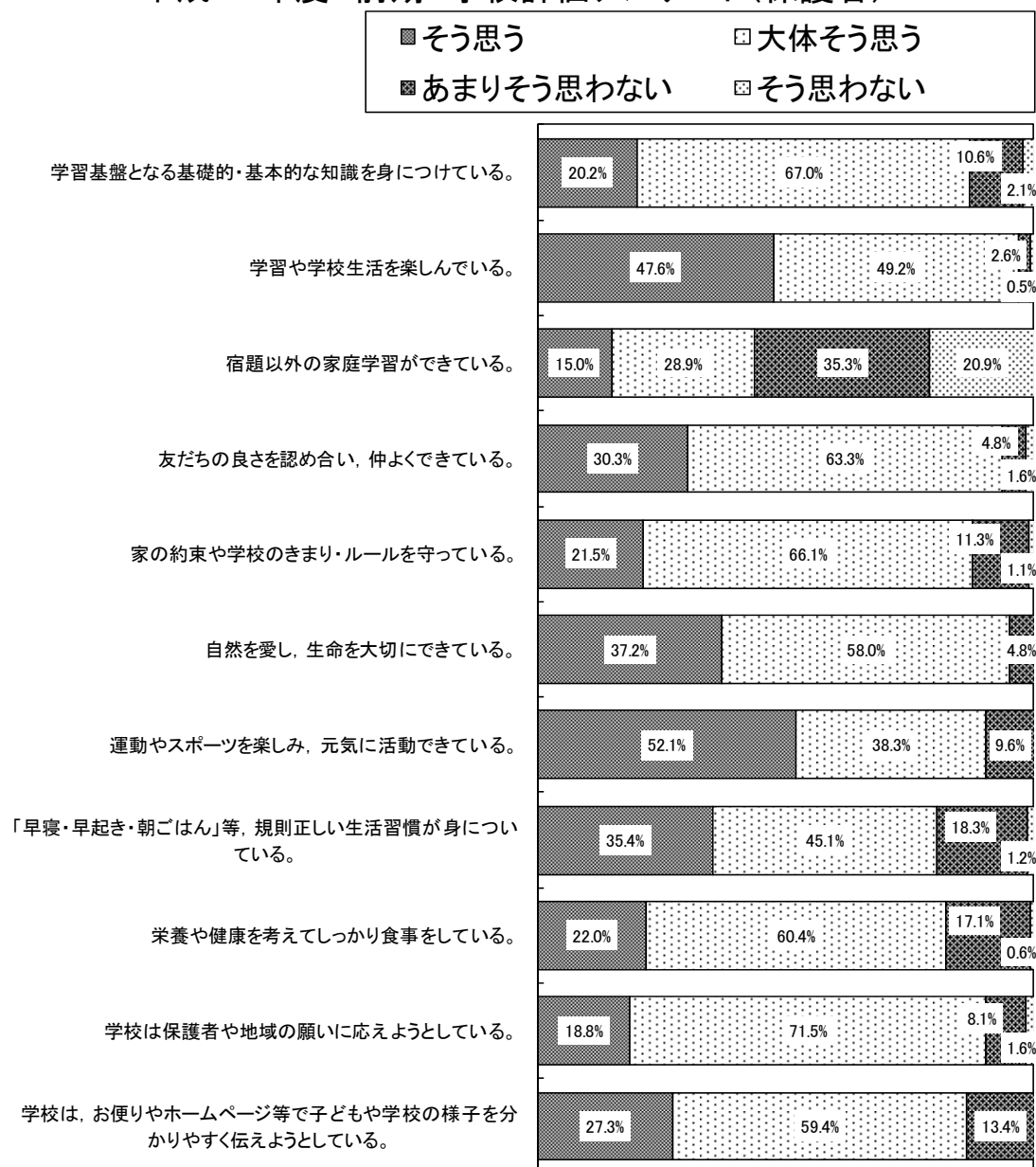


保護者様

平成26年10月 9日

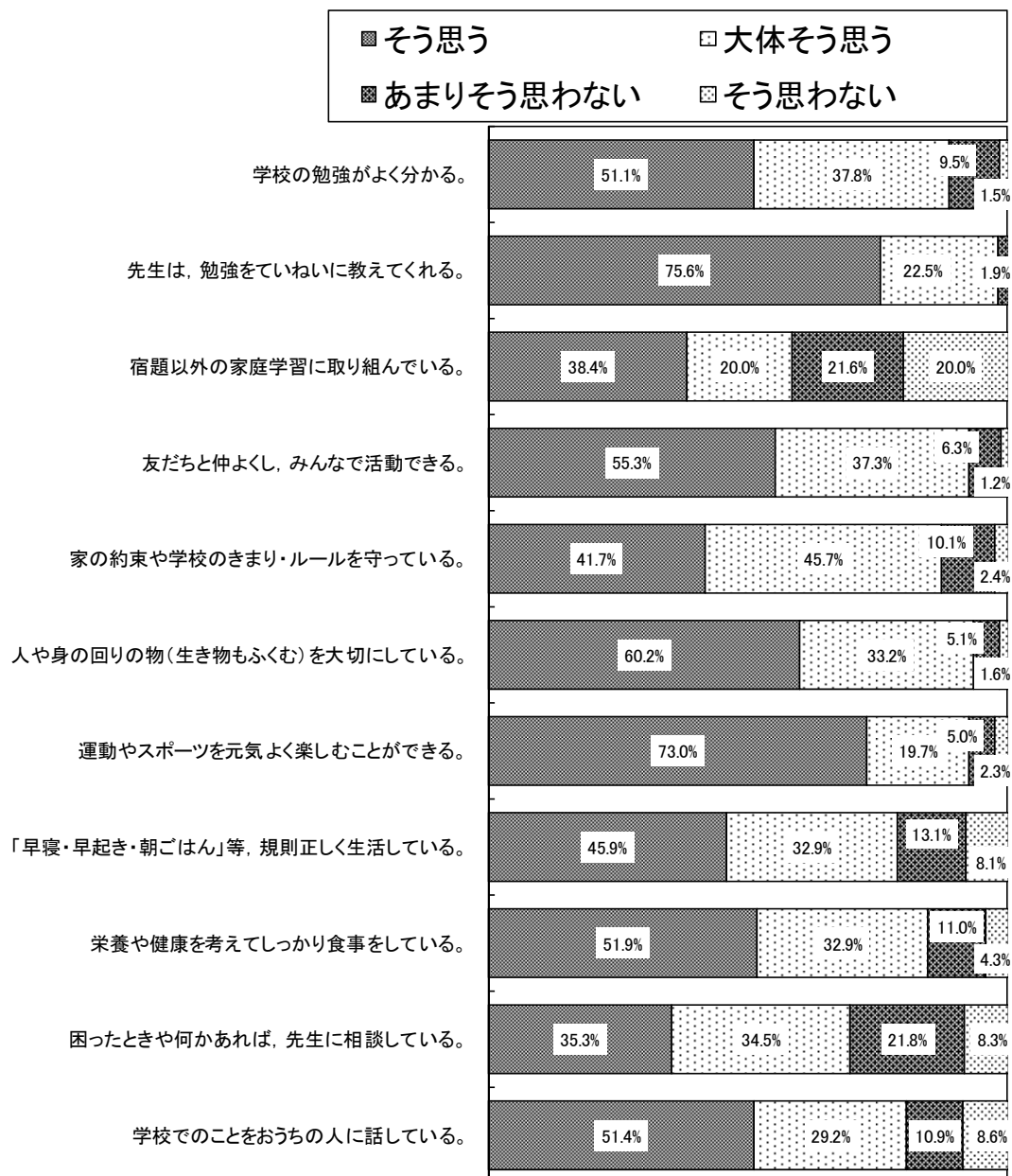
京都市立池田小学校
校長 下村 貞之

平成26年度 前期 学校評価アンケート(保護者)



平成26年度前期の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度は、昨年度と同じ内容の設問もありますが、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校づくり」という観点で少し設問を変更し、アンケート調査を実施しました。「そう思う・大体そう思う」を合わせた適合度を示す割合でみると、保護者アンケートから特に「学習や学校生活を楽しんでいる。96. 8%」「自然を愛し、生命を大切にできている。95. 2%」「友だちの良さを認め合い、仲よくできている。 93. 6%」「運動やスポーツを楽しみ、元気に活動できている。90. 4%」の設問で高い評価となっています。この結果から、本校の目指す子ども像である『やさしい子・元気な子・学び合う子』の育成に向けての取組が、家庭との連携により子ども達の良さを引き出し、成果なって表れていると考えます。また、「学校は保護者や地域の願いに応えようとしている。90. 3%」と、学校の取組や教職員に対して一定の良い評価をいただいていると感じています。このことは、裏面の児童アンケートの結果にも表れており、「友だちと仲よくし、みんなで活動できる。92. 6%」裏面につづく

平成26年度 前期 学校評価アンケート(児童)



表面つづき

「人や身の回りの物(生き物もふくむ)を大切にしている。93.4%」「運動やスポーツを元気に楽しむことができる。92.7%」と、児童の評価と保護者の評価が合致しています。さらに、「先生は、勉強をていねいに教えてくれる。98.1%」と、学習指導に対する評価も高いものとなっています。しかし、「困ったときや何かあれば、先生に相談している。69.8%」という結果から、子どもとの信頼を高め、子ども達とのコミュニケーションを今以上に良好にしていく必要があると受け止めます。

今回一番の課題として挙げられるのが、「宿題以外の家庭学習」です。保護者も児童も低い割合となっています。また、学習基盤・規則正しい生活・食事・きまりやルールといった設問においては、以前より課題として挙がっていた点でもあります。どの設問においても「あまりそう思わない・そう思わない」と評価されたことについて、学校と家庭や地域が協力し、改善の方法を探り、取組を進めていくことこそが、公教育として大切だと考えます。また、今回ご意見・ご感想をいただいた点につきましても真摯に受け止め、学校の取組に活かし、学校経営・学級経営につなげていきたいと考えます。後期も教職員が力を合わせてよりよい学校づくりのために、努力してまいりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。